

会員交流広場

～皆様からのメッセージの一部を紹介～

今年度の会員交流会(7月13日(水)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ(<http://www.t-hito.or.jp>)に掲載させていただいております。

記念すべき第1回富山マラソンを走りました。せっかく走るのだからと、夫婦で「満寿泉」のとっくりの格好で参加しました。

当日はたくさんの「満寿泉～頑張れ!!!」の応援を頂きました。

また、これがご縁で舩田酒造の酒蔵を社長にご案内頂きました。もちろん、第2回も参加予定です。新幹線が出来て、本当に近くなりました。

新幹線の開通で、本当に富山が近くて便利になりました。氷見市出身ですが、同期からゴルフやクラス会の声がかかるとすぐに出掛けます。

「かがやき」の新高岡駅停車便を是非もっと増やしていただきたいです。

テレビでもよく富山県についての情報が最近多くなり喜んでいきます。

昨年は北陸新幹線開業でしたので、5回往復しましたが、今年は2回行きたいと思っています。

魚と水と空気が美味しい富山!!

ふる里(小矢部市)を離れ、大阪に住み始め、あと2年で50年になろうとしているのに、富山の味、食文化、風の香りなど、なかなか根つこの部分は変わることがありません。

例えば、冬が来ると、無性に「かぶらすし」が食べたくなり、大阪のデパートを探し歩いたことも何度かあります。百貨店で時折開催される「ふる里富山」の味めぐりなどの企画は、うれしいものです。

そして、豊かな散居村が今の私を育ててくれたことに年々感謝しているこの頃です。

大学から大学院在学中、毎年幼馴染の友人達と立山登山を楽しんでいました。急峻な立山連峰から富山湾に続く、名前通りに霊峰に囲まれた富山は、他県には見られない独特な風光明媚な所で、中年時代から富山に馴染み、毎年立山登山をしていました。年を取ってから多忙なことと、体力の衰えから立山登山は割愛するようになりました。今一度挑戦を試みたいと思っています。

熊本地震発生から1ヶ月半経ちました。その節は、沢山の皆様から暖かいお言葉、お心遣いをいただき、深く感謝いたします。

まだ、毎日揺れますが、少しずつ日常へ向かっています。心も少しずつ元気になっています。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

環境サミットが5月下旬に郷里で開催されることを私達の誇りとします。

「世界で最も美しい湾」有磯海より眺める立山連峰・劔岳ご来光の神秘を先進国よりご来訪の方々への思い出に。

15歳になった夏、立山登山が言わば、成人式であった。その時、父が神通川の石を持って行って雄山に積めと命じた。後で分かったことだが、昔、加賀のものが越中の立山より白山の方が高いと言われたので、越中人の負けん気の現れだったことが判明した。

「富山県への助言」の一部をご紹介します。

関東地域に居住する出身者は、高齢化に加え、少子化を背景に特に40歳代以降の人員が極少傾向にあります。

このことは、故郷を憂い想う絶好の機会である「市町村の県人会」「学校の同窓会」等が存続できない時代が確実に到来します。

県人口の減少だけではなく、県外に居住していても故郷に想いを巡らしていた「とやま応援団人口」も激減していきます。

富山のより魅力のアップと、応援団人口を増やす根本的な施策が急務と考えます。

例えば、出身者の子供・孫・ひ孫を優先的に取り込む施策を発信してほしい。

交通会館のアンテナショップをよく利用しています。年末には大変混雑していました。商売の範囲をもっと拡大し、飲食もできれば有り難いと思っています。

外国人観光客の受け入れを積極的に考えましょう。民泊、語学、おもてなし、ドメスティック文化の再確認、いずれも大事に育てましょう。

気軽に友人、知人に渡せるB5以下の小さいリーフレット(山、海、食、史跡など)があれば渡し易い。相手も鞆に入れて持ち帰れる。

いずれ首都圏からの訪問者は少なくなる。関西圏からの訪問者を確保するため、以下のことはできないか。

1. 在来線特急を富山まで延伸(乗換えをなくす)
2. 新幹線車輛を在来線に乗り入れられないか。
3. 伊丹発着の航空便設定できないか。富山県人は圧倒的に京阪神に多い。

関西の奥座敷富山に行き易くする方を!

「とやまの水」をもっと全国に知らせるべき。